

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	北川村
共同提案者名	四国電力株式会社、電源開発株式会社、株式会社四国銀行、高知県農業協同組合北川支所、一般社団法人北川村振興公社
選定回	第3回

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	農業振興
地域脱炭素の基盤創出	地域エネルギー会社との連携
需要家・エリア設定	全域
創出する再エネの種類・導入技術等	小水力発電、営農型太陽光

1-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left( \frac{1.62053161}{81,520} (\%) + \frac{0.19024151}{9,570} (\%) \right) \div \frac{5,030,448}{5,030,448} (\text{kWh/年}) = 2 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)					省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳				合計			
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	549世帯	2,480,333	0	0	0	0	0	9,570	14	
	その他							0			
民生・業務その他	オフィスビル	68施設	1,367,656	0	0	0	0	0	0	0	
	商業施設							0			
	宿泊施設							0			
	その他							0			
公共	公共施設	51施設	1,150,886	81,520	0	0	0	81,520	0	47	
	その他	865機	31,573	0	0	0	0	0	0	0	
合計			5,030,448	81,520	0	0	0	81,520	9,570	61	

1-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
	0	67	23						90

1-3.「実質ゼロ」の達成見通し

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
4	28	53	100	100	100

## 2-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	2,041,835	2,457,308	33,074,446	35,854,542	65,661,445	0	0
	累計		0	2,041,835	4,499,143	37,573,590	73,428,132	139,089,577	139,089,577	139,089,577
実績	単年度		0	2,041,835	1,462,842					
	累計		0	2,041,835	3,504,677					

## 2-2.個別KPIの進捗状況

■指標1：村内における再エネ関連事業の創出による新規雇用人数（単位：人）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		1	1	1	1	1	0	0	0
	累計		1	2	3	4	5	5	5	5
実績	単年度		2	1	0					
	累計		2	3	3					

■指標2：農業従事者の後継者不足と耕作放棄地の拡大（単位：a（ソーラーシェアリングによるゆず生産栽培面積））

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	0	0	0	3	0	0	0
	累計		0	0	0	0	3	3	3	3
実績	単年度		0	0	0					
	累計		0	0	0					

■指標3：避難所への太陽光発電設備、充電設備の設置数（単位：施設数）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	—	0	2	0	1	3	0	0	0
	累計	1	1	3	3	4	7	7	7	7
実績	単年度	—	0	2	0					
	累計	1	1	3	3					

実績詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再エネ整備を担う北川村振興公社において、令和6年度に村内・周辺地域から1名を雇用し体制強化を図った。</li> <li>・ソーラーシェアリングについては、遮光によるゆずの生育影響を研究している高知大学へのヒアリングを実施し、遮光影響の研究動向を把握するとともに導入方法について意見交換を実施。また、ソーラーシェアリングの技術を有するメーカー（2社）から現地視察を受け入れ、既存の園地等への導入可能性について意見交換を実施。</li> <li>・村内の中央付近に位置する北川村温泉及び小島集会所に太陽光・蓄電池を整備したことで停電時等の電力レジリエンスの強化を図った。</li> </ul>
------	--

## 3.横展開の可能性について

### 自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

・こおりやま広域圏を主催する郡山市職員及び国立環境研究所職員による村の視察に対応したほか、県や民間企業4社程度の視察・取材に対応。また、地域脱炭素フォーラムin高松でのパネルディスカッションへの登壇や四国地域エネルギー・温暖化対策推進会議での取組紹介、神奈川県茅ヶ崎市において講演を実施。今後の横展開に向けて視察の受け入れ体制の整備を検討。

## 4.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

・令和6年度に改定した北川村まち・ひと・しごと創生総合戦略において脱炭素の推進を位置づけた。また同年度に北川村地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）を策定し、本事業を主要施策として位置づけている。